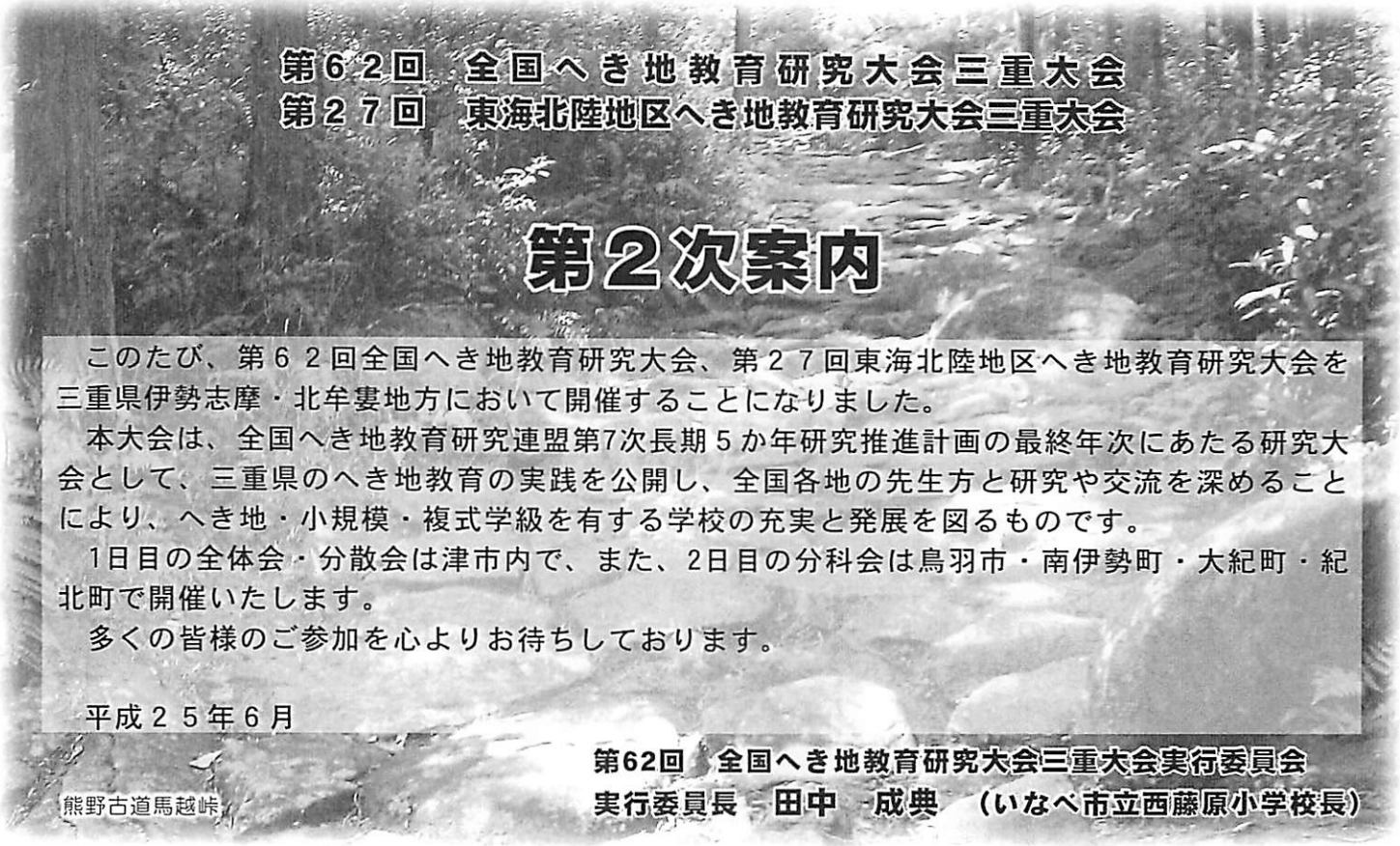


第６２回　全国へき地教育研究大会三重大会
第２７回　東海北陸地区へき地教育研究大会三重大会

第２次案内

このたび、第６２回全国へき地教育研究大会、第２７回東海北陸地区へき地教育研究大会を三重県伊勢志摩・北牟婁地方において開催することになりました。

本大会は、全国へき地教育研究連盟第7次長期５か年研究推進計画の最終年次にあたる研究大会として、三重県のへき地教育の実践を公開し、全国各地の先生方と研究や交流を深めることにより、へき地・小規模・複式学級を有する学校の充実と発展を図るものです。

1日目の全体会・分散会は津市内で、また、2日目の分科会は鳥羽市・南伊勢町・大紀町・紀北町で開催いたします。

多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

平成２５年６月

第62回　全国へき地教育研究大会三重大会実行委員会
実行委員長　田中　成典　（いなべ市立西藤原小学校長）

熊野古道馬越峠

大会スローガン

美し国（うま）三重から　伝えよう　育もう　自立する力　共に生きる力

【開催期日】　平成25年 11月 7日（木）～8日（金）

【会　　場】　１日目　全体会：三重県総合文化センター

分散会：三重県総合文化センター
〒 514-0061 三重県津市一身田上津部田1234 TEL：059-233-1111

２日目　分科会：鳥羽市・南伊勢町・大紀町・紀北町　８会場

●第６２回　全国へき地教育研究大会三重大会実行委員会事務局●
〒５１９－３８１４　三重県尾鷲市三木浦町３９１番地
尾鷲市立三木小学校　校長　樋口　巧
TEL 0597-28-2029　FAX 0597-28-2029
E-mail　emiki@owase.ed.jp

第62回　全国へき地教育研究大会三重大会開催要項

1　開催の趣旨

へき地・小規模・複式学級を有する学校の学級経営・学習指導及び生徒指導上の諸問題について研究協議するとともに、全国各地におけるへき地教育の研究成果を交流し、へき地教育の充実を図る。

2　研究主題

（1）全国へき地教育研究連盟第７次長期５か年研究推進計画　研究主題

『ふるさとでの学びを生かし、新しい時代を築く心豊かな子どもの育成』

～へき地・小規模・複式学級を有する学校の特性を生かした学校・学級経営と学習指導の深化・充実をめざして～

（2）三重県へき地複式教育研究会　研究主題

『ふるさとでの学びを生かし、新しい時代を築く心豊かな子どもの育成をめざして』

～へき地・小規模・複式学級を有する学校の特性を生かした学校・学級経営と学習指導の深化・充実を求めて、理論と実践を積み重ねながら、三重県のへき地複式教育の推進をはかる～

3　主　　催

文部科学省　三重県教育委員会　全国へき地教育研究連盟
東海北陸地区へき地教育研究協議会　三重県へき地複式教育研究会
三重県へき地複式教育振興会　津市教育委員会　鳥羽市教育委員会
南伊勢町教育委員会　　大紀町教育委員会　　紀北町教育委員会

4　後　　援

東海北陸各県教育委員会　三重県　津市　鳥羽市　南伊勢町　大紀町
紀北町　　三重県市町教育委員会連絡協議会　　三重県市町教育長会
三重県公立小中学校長会　　三重県公立小中学校教頭会
三重県 PTA 連合会　　日本教育公務員弘済会

5　大会基本日程

9:00 9:30	10:10 10:20	12:40	13:30	15:30
第１日 11月７日 （木） 受付	開会式 休憩	基調報告 記念講演 次期開催県挨拶 アトラクション	移動 昼食 休憩	分散会 （６分散会場）	各分科会場 周辺宿舎へ バスで移動

8:40 9:10	10:50 11:00	12:10 12:30	13:30
第２日 11月８日 （金） 受付	公開授業 Ⅰ・Ⅱ 休憩移動	分科会 開会行事 研究発表 研究協議 閉会式	昼食 休憩	最寄りの駅へバス等で移動

※２日目は分科会場によって、日程が一部変更になる場合があります。

※11月６日（水）に全国へき地教育研究連盟理事会、秋季総会、交流会が開催されます。

6 会　　場

【第１日】11月７日（木）
◇全体会　三重県総合文化センター　　中ホール
〒 514-0061　三重県津市一身田上津部田 1234　TEL：059-233-1111（代表）

（１）開会式　　9:30 ～
（２）基調報告　　10:20 ～　　○全国へき地教育研究連盟研究部長
○三重県へき地複式教育研究会研究部長

（３）講演　　10:50 ～
演題「へき地の子どもの社会性・言語・コミュニケーション力をいかに育むか」
～極小規模校の特性を生かしたこれからのへき地教育～

講師　北海道教育大学釧路校
教授　玉　井　康　之　先生

（４）次期開催県挨拶　　群馬県

（５）アトラクション
演目　「滝之原太鼓と服部 博之さんとの太鼓」
出演　「名張市立滝之原小学校５・６年児童と服部 博之さん」

（６）移動、昼食、休憩　12:40 ～

◇課題別分散会　　13:30 ～　三重県総合文化センター

分 散 会	第1分散会 ﾚｾﾌﾟｼｮﾝﾙｰﾑ	第２分散会 視聴覚室	第３分散会 大研修室	第４分散会 中研修室	第５分散会 セミナー室Ａ	第６分散会 セミナー室Ｃ
全国ブロック 発表都道府県	関東・甲信越 ブロック 栃木県	九州 ブロック 大分県	中国・四国 ブロック 愛媛県	東北 ブロック 山形県	北海道 ブロック 石狩	近畿 ブロック 和歌山県
東海・北陸 ブロック	愛知県 岡崎市	岐阜県 中津川市	静岡県 浜松市	石川県 河北郡津幡町	福井県 福井市	富山県 富山市

【第２日】11月８日（金）分科会（公開授業）　各会場校

記号	会　場　校　名	記号	会　場　校　名
A	鳥羽市立神島小学校	F	大紀町立大紀中学校
B	鳥羽市立神島中学校	G	南伊勢町立南島西小学校
C	鳥羽市立答志小学校	H	南伊勢町立南島西中学校
D	鳥羽市立答志中学校	I	紀北町立赤羽小学校
E	大紀町立錦小学校	J	紀北町立赤羽中学校

7　課題別分散会（全国ブロック）

分散会	領域	全国第７次研究推進計画研究課題	全国ブロック		
			学校名	校長・発表者	研究主題等
1	学校・学級経営の深化・充実	－課題１－ 家庭や地域と共に確かな学びを創る特色ある教育計画の創造と推進を図る	栃木県 〒 327-0516 栃木県佐野市水木町 51番地 佐野市立氷室小学校 teach-sa-himuro@mirun.sctv.jp	校　長　荒居　包夫 発表者　増田　玲子 TEL　0283-87-0030 FAX　0283-87-1013	「生き生きと学び合う氷室っ子の育成」～家庭、地域と共に、特色ある教育活動の継続を通して～ 学級数　４学級 児童数　３６名
2		－課題２－ ふるさとを生かし、新しい時代を築く、開かれた学校・学級経営の創造と推進を図る	大分県 〒 870-1215 大分県大分市大字上詰 704-1 大分市立野津原西部小学校 nth-seil@oct-net.ne.jp	校　長　嶋田　哲彦 発表者　秦　智恵美 TEL　097-589-2656 FAX　097-589-2657	「思いや考えを伝え合い、認め合う子どもの育成」 学級数　４学級 児童数　１２名
3		－課題３－ 地域に根ざし、家庭や地域と共に豊かな心をはぐくむ教育活動の創造と推進を図る	愛媛県 〒 794-2410 愛媛県越智郡上島町岩城 1218 上島町立岩城中学校 iwagichuu@town.kamijima.ehime.jp	校　長　柳原　裕史 発表者　前神　和明 TEL　0897-75-2019 FAX　0897-74-0760	「ふるさとを愛し、主体的に生きる心豊かな生徒の育成」 学級数　３学級 生徒数　４３名

分散会	領域	全国第７次研究推進計画研究課題	全国ブロック		
			学校名	校長・発表者	研究主題等
4	学習指導の深化・充実	－課題４－ 児童生徒の分かる喜びや個性を重視した指導計画の改善・充実を図る	山形県 〒990-0351 山形県東村山郡山辺町大字簗沢636 山辺町立作谷沢小中学校 sakuya@town.yamanobe.yamagata.jp	校長　渡邉　和浩 発表者　今井　枝里子 TEL　023-666-2211 FAX　023-666-2213	「主体的に学ぶ子どもの育成」～小中９年間を通した学び方に焦点をあてて～ 学級数 小学校　３学級 児童数　１２名 中学校　２学級 生徒数　６名
5		－課題５－ 学習意欲や個に応じたきめ細かな指導を重視した指導方法の改善・充実を図る	北海道 〒061-0208 北海道石狩郡当別町字弁華別243番地 当別町立弁華別小学校 benkebetsu-el@sc.town.tobetsu.hokkaido.jp	校長　渡邉　光太郎 発表者　髙橋　基 TEL　0133-23-2350 FAX　0133-25-5382	「自ら学びを追求し、ともに高め合う子どもの育成」～一人一人の学びが生きる複式授業の構築～ 学級数　３学級 児童数　１２名
6		－課題６－ 課題意識をもって自ら学び、共に高め合う学習過程の改善・充実を図る	和歌山県 〒646-1213 和歌山県田辺市下川下826番地の1 田辺市立富里小学校 tomisato@mb.aikis.or.jp	校長　松本　晃一 発表者　中井　美重子 東田　一歩 TEL　0739-63-0173 FAX　0739-63-0173	「一人ひとりが進んで表現し、ともに学び合う授業の創造」 学級数　３学級 児童数　２６名

8　課題別分散会（東海北陸ブロック）

分散会	領域	全国第７次研究推進計画研究課題	東海北陸ブロック		
			学　校　名	校長・発表者	研究主題等
1	学校・学級経営の深化・充実	－課題１－ 家庭や地域と共に確かな学びを創る特色ある教育計画の創造と推進を図る	愛知県 〒 444-3442 愛知県岡崎市保久町字市場 16 岡崎市立下山小学校 mhiraki@st.oklab.ed.jp	校　長　平木　教男 発表者　平木　教男 大盛　伸也 TEL　0564-84-2204 FAX　0564-84-2209	「豊かな心をもち、たくましく生きる下山っ子を育てる」～伝え合う力の育成と交流活動を軸に～ 学級数　４学級 児童数　２０名
2		－課題２－ ふるさとを生かし、新しい時代を築く、開かれた学校・学級経営の創造と推進を図る	岐阜県 〒 508-0421 岐阜県中津川市加子母 2781-72 中津川市立加子母小学校 kashimoes@city.nakatsugawa.gifu.jp 中津川市立加子母中学校	校　長　谷口　陽一 原　嘉幸 発表者　石山　高顕 伊藤　博章 TEL　0573-79-2125 FAX　0573-79-0020	「加子母の自然、歴史、文化、人に主体的に関わり、地域に誇りがもてる子の育成」 加子母小学校 学級数　８学級 特別支援２学級を含む 児童数　１６６名 加子母中学校 学級数　５学級 特別支援２学級を含む 生徒数　９４名
3		－課題３－ 地域に根ざし、家庭や地域と共に豊かな心をはぐくむ教育活動の創造と推進を図る	静岡県 〒 431-3908 静岡県浜松市天竜区佐久間中部 683-1 浜松市立佐久間中学校 sakuma-j@city.hamamatsu-szo.ed.jp	校　長　大谷　正敏 発表者　鈴木　千穂 TEL　053-965-0237 FAX　053-965-1623	「つながりの中で輝く生徒の育成」 学級数　３学級 生徒数　４９名

分散会	領域	全国第７次研究推進計画研究課題	東海北陸ブロック		
			学校名	校長・発表者	研究主題等
4	学習指導の深化・充実	－課題４－ 児童生徒の分かる喜びや個性を重視した指導計画の改善・充実を図る	石川県 〒929-0464 石川県河北郡津幡町山北ワ116番地 津幡町立笠野小学校 kasano-es@m2.spaclan.ne.jp	校長　川村　正美 発表者　瀧川　和洋 TEL　076-288-8651 FAX　076-288-8652	「生き生きと学ぶ子をめざして」～少人数・複式に生きる算数科学習を通して～ 学級数　５学級 児童数　３３名
5		－課題５－ 学習意欲や個に応じたきめ細かな指導を重視した指導方法の改善・充実を図る	福井県 〒910-3402 福井県福井市鮎川町第109号3番地3 福井市立国見小学校 kunim-e@fukui-city.ed.jp 福井市立長橋小学校 福井市立殿下小学校	校長　眞木　千恵子 酒井　公一 長谷川　正克 発表者　笹原　千枝 吉岡　高成 山村　真弓 TEL　0776-88-2116 FAX　0776-88-2117	「自ら考え、表現できる子をめざして」～仲間とともに学び合う楽しさを知る「合同学習」のあり方～ 国見小学校 学級数　４学級 児童数　３９名 長橋小学校 学級数　３学級 児童数　１５名 殿下小学校 学級数　３学級 児童数　９名
6		－課題６－ 課題意識をもって自ら学び、共に高め合う学習過程の改善・充実を図る	富山県 〒930-1456 富山県富山市小見250 富山市立小見小学校 omi-es@tym.ed.jp	校長　四方田　光男 発表者　中山　隆博 TEL　076-482-1036 FAX　076-482-1041	「学ぶ楽しさやできる喜びを味わい、自分のよさを生かして主体的に学習に取り組む子どもの育成」～少人数や地域のよさを生かした指導の在り方～ 学級数　４学級 児童数　２７名

9　分科会（公開授業会場）

学校名 ・校長名 ・所在地 ・電話番号 ・級地、学級数	児童生徒数	公開授業		研究主題 ～サブテーマ～ ○数字　関連課題
		1校時	2校時	
A 鳥羽市立神島小学校 ・松井　幸生 ・鳥羽市神島町388番地3 ・0599-38-2013 ・3級地 ・単式1、複式2	16	1年　【国語】 2年・3年 【国語】 4年・6年 【国語】	全学年 【生活・総合的な学習の時間】 (ふるさと学習) ・神島の主産物の一つである「タコ」を題材にした調べ学習の発表 ・太鼓演奏 ・群読　等	『小中の連続した学びを基盤にした「生きる力」の育成』 ～国語科でのひとり学びの力を育てる～ ③⑥
B 鳥羽市立神島中学校 ・浅井　清 ・鳥羽市神島町388番地3 ・0599-38-2009 ・3級地 ・単式3	5	1年【社会】 2年【英語】 3年【国語】 各学年の授業発表	全学年 【総合的な学習の時間】 (地域との関わりについて)	『小中の連続した学びを基盤にした「生きる力」の育成』 ～少人数の特性を生かした指導・支援の在り方～ ③⑤

研　究　内　容	学　校　・　地　域　の　紹　介
○授業の中で適切な課題を考えることや児童が学ぶ方法を習得することで、児童が間接指導の時などに主体的に取り組み、自ら学びを深め、進めることができると考え、『国語科でのひとり学びの力を育てる』と設定した。 ○ひとり学びの力を育てるために ・主体的に学習するための学習形態や課題設定の工夫 ・主体的に学習を進めるための効果的な学び方や表現の工夫 ・子どもの実態をつかむための工夫 ・家庭学習を進めるための家庭や地域との連携	○本校は、三重県鳥羽市の伊勢湾口に浮かぶ、三重県唯一の外洋型の孤島（周囲約４ｋｍ）にある学校である。島の北西側は伊勢湾に、南西側は太平洋に面しており主産業は、全戸数の５５％を占める漁業である。季節風を避けて人家は島の西北部の急な斜面に集中し、小中学校だけが南側にある。 ○１７ｋｍ離れた鳥羽からの市営定期船が唯一の交通手段であり、１日４便で、片道４５分程度かかる。交通の利便上の問題は、島での生活や教育にも大きな影響を与えていて、小中学校ともに県内唯一の３級へき地校に指定されている。 ○子どもたちが全校で太鼓（島っ子太鼓）に取り組んでいて、学校行事や地域のイベントなどでその成果を披露している。10 年以上続いており、地域の方々も楽しみにしている
○小中学校の統合化と校舎建築が計画されているため、小中学校の連携をさらに深め、義務教育９年間の連続した学びを作り出し、生きる力の育成を目指し、小中合同研究主題を設定し、研究を進めている。 【仮説】 小規模な学校での個に寄り添った少人数指導の推進や、家庭・地域との密接な連携をベースにした取組を追求していくことは、確かな学力の定着や生徒の自主性の育成につながる。 ○確かな学力の定着や生徒の自主性の育成のために ・教師の指導力向上を目指した授業研究 ・書く、聴く、調べる、話す、伝える活動の工夫 ・少人数だからこそできる授業形態の工夫 ・家庭学習の支援、自主勉強の推進 ・寺子屋（夜の学習会）	○本校は、鳥羽市街からおよそ１７ｋｍの伊勢湾に浮かぶ周囲４ｋｍの離島にある、全校生徒５人の小規模な学校である。島の北西側は伊勢湾に、南西側は太平洋に面しており、主産業は、全戸数の５５％を占める漁業である。季節風を避けて人家は島の西北部の急な斜面に集中し、小中学校だけが南側にある。唯一の交通手段である市営定期船は、１日４便で、片道４５分程度かかる。そのため、小中学校ともに県内唯一の３級へき地校に指定されている。 ○島民の学校教育への関心は高く、一人ひとりの生徒のことは大半の島民が知っていて、ＰＴＡ活動を中心に島をあげて全面的な協力をしてくれる。運動会や文化祭などは、保育所・小学校・地域とともに作り上げる地域の大きなイベントとなっている。 ○全校生徒が卓球部に所属し、朝のランニングや放課後の練習に一生懸命取り組んでいる。また陸上大会にも積極的に参加している。地域との関わりとして１年生は島内の職場体験を実施したり、冬季には灯油運びボランティアを行ったりしている。

学校名 ・校長名 ・所在地 ・電話番号 ・級地、学級数	児童 生徒数	公開授業		研究主題 ～サブテーマ～ ○数字　関連課題
		1校時	2校時	
C 鳥羽市立答志小学校 ・木下　雅博 ・鳥羽市答志町941番地1 ・0599-37-2032 ・1級地 ・単式6	105	1年【生活】 2年【生活】 3年 【総合的な学習の時間】 4年 【総合的な学習の時間】 5年 【総合的な学習の時間】 6年 【総合的な学習の時間】	全学年 【生活・総合的な学習の時間】 （がいえええぞ！答志島～あわびの歌・防火の歌を通して～）	『自らを見つめ、互いの思いを認め合いながら高まり合う子ども』 ～伝え合う力を高めよう～ ③
D 鳥羽市立答志中学校 ・池田　榮 ・鳥羽市答志町2220番地5 ・0599-37-2033 ・1級地 ・単式3 ・特別支援1	59	1年【英語】 2年【保健体育】 3年【理科】	全学年 【総合的な学習の時間】 （藻場再生活動体験）	『自らを見つめ、高まっていこうとする生徒の育成』 ～人権学習・ふるさと学習・自問学習の相乗作用を土台として～ ③

研　究　内　容	学　校　・　地　域　の　紹　介
○あらゆる教育活動の中で、考える場や思いを伝える場を設定し、話し合い活動や表現活動を通して「伝え合う力」を高める。 ・自分の考えや思いを素直に伝えたり、仲間の思いや語り合いができる場の設定。 ・調べ学習などの主体的な活動に裏打ちされた自己表現への意欲の育成。 ・ふるさとの良さを実感できるような体験活動の充実。 ○子どもが主体的に参加する授業を目指して、授業改善を図る。 ・「できた」「わかった」「やって良かった」といった自己肯定感を引き出す場の設定。 ・個々の児童に即した支援の在り方の工夫。 ・自分の思いや考えが受け入れられる場や雰囲気の醸成。	○答志小学校は、答志島和具港から徒歩５分の場所にあり、校歌にも「紺青の藻の花香る・・・」と詠われるように、「大間の浜」に隣接する潮の香り漂う学校である。 ○全校児童１０５名の小学校は、創立１３８年を数え、島の豊かな自然と温かい人情を財産に、島と共に歩んできた歴史を持つ。児童は素直で明るくおおらかである。校区内にある唯一の保育所から入学するため、互いのことをよく知っており、家庭的な雰囲気がある。また、上の学年の子どもを「にい」「ねえ」と呼び、放課後など学年を越えて一緒に遊ぶ姿がよく見られる。 ○豊かな自然と、長い年月をかけて人々が培ってきた島の風土は、それだけで素晴らしい宝である。浜では漁の準備をしている漁師達と出会い、市場には海の幸がごまんと集まる。ひとたび競りが始まれば、そこは活気に満ちあふれる。路地に入れば、「じんじろ車」に荷物を載せて家路に向かうおばあさんや道端で談笑するおじいさんに出会う。 ○地域の人々は、学校教育に大変協力的で、学校行事やＰＴＡ活動への積極的な参加、ゲストティーチャーとしての支援など、いつも温かい目で、子ども達を見守ってくれている。
○地域の産業や地域で働く人々とふれあうことで、地域の特性や良さを知り、自らの将来や生き方について考える糧になるのではないかと考え、各学年毎にテーマを決めて、一年間を通して総合的な学習の時間を「ふるさと学習」と位置づけ、取組を進めている。 〈１年生〉地域の産業から学ぶ ～わかめの養殖体験学習～ 〈２年生〉地域の人々から学ぶ ～人生の先輩との出会い学習～ 〈３年生〉地域の取組から学ぶ ～藻場再生活動体験学習～ ○少人数を生かし、「ふるさと学習」「人権学習」「自問学習」の相乗効果を土台として教科学習のつながりを大切に、コミュニケーション力をのばし基礎・基本の定着を図る。	○美しく波静かな伊勢湾の入口に浮かぶ答志島は、鳥羽の佐田浜港から市営定期船で２０分くらいの海上に位置する三重県最大の島で、東には神島、遠くには渥美半島が望める。 ○島には、九鬼水軍の将（九鬼嘉隆）の胴塚・首塚や縄文土器・弥生土器が出土する古墳群がある。また、寝屋子制度や神祭など特有の伝統文化も受け継がれ、歴史と文化を伝える豊かな自然と海の幸に恵まれた島である。 ○答志中学校は、和具港から徒歩で１５分くらいの「しんで」と呼ばれる海抜１５ｍの小高い山間に建つ、全校生徒５９名の１級へき地校である。 ○素朴な温かさと人情に包まれて育った子どもたちは、島に残り地域産業（主に漁業や観光業）に従事する者と島を出て就職する者に分かれる。しかし、島を離れた者たちもお盆や正月、島の祭りの時などはみんな島にに帰ってくる。島に残る者も離れる者も島に誇りを持ちち、どこかで島とつながっている。これからも、そんな後継者の育成を目指して、本校の研究は続いてきている。

学校名 ・校長名 ・所在地 ・電話番号 ・級地、学級数	児童生徒数	公開授業		研究主題 ～サブテーマ～ ○数字　関連課題
		1校時	2校時	
E 大紀町立錦小学校 ・中村　武弘 ・度会郡大紀町錦426番地1 ・0598-73-2012 ・1級地 ・単式6 ・特別支援1	87	1年【生活】 2年【生活】 3年【総合的な学習の時間】 4年【合科（地域学習）】 5年【社会＋総合】 6年【合科（防災教育）】 特別支援学級【生活単元】	全学年 【生活・総合的な学習の時間】 （地域を活かした調べ学習）	『地域での学びを活かし、自ら考え高め合う子どもの育成』 ～「調べ、まとめ、伝える」活動を中心として～ ③④⑤
F 大紀町立大紀中学校 ・北村　吉洋 ・度会郡大紀町崎291番地3 ・0598-74-1010 ・特地 ・単式3 ・特別支援1	97	1年【社会】 2年【理科】 3年【数学】	全学年 【総合的な学習の時間】 （進路学習の発表）	『進路保障の確立をめざして』 ～基礎・基本の定着と学習意欲を高める指導法の工夫～ ⑤

研　究　内　容	学　校　・　地　域　の　紹　介
○平成24年度は、「学力の基礎を定着させる指導とその工夫の研究」として、国語・算数の授業研究を中心に取り組んできた。その経緯を踏まえて、基礎的な定着に加えて、子どもたちが自ら考え発信し協働して学ぶことも必要であるとの考えにいたった。 ○基礎・基本を大切にし、課題活動を行う場面を設定することにより、活動の中で自ら考え行動し、協力して課題を解決していく活動を、全教育活動を通して行う必要があると考えている。	○本校区は、熊野灘に面するリアス式海岸の入り江に位置し、人口約2000人の、昔から漁業と関連の深い地域である。かつて、三角縁神獣鏡などが出土した歴史ある地でもある。 ○学校は、地域の中心産業であった漁業が衰退の傾向にある中で、昭和50年代には、400名ちかくあった児童数が100名を切るほどに減少し、今後も減少の傾向にある。校区は、海と山に囲まれた錦地区に限られ、最も遠い児童でも徒歩で30分ほどの通学時間である。 また、予想される南海トラフ地震の想定津波到達高は16mとなっており、防災教育を中心にして、自助力を育む活動を行っている。 ○住民は本校の教育に協力的で、地域の学校として物心両面で協力、援助をしてくれる。とりわけお年寄りの方々がゲストティーチャーとして地域の歴史や文化、ようすを伝えに来ていただいている。
○本校では、「明日も来たいと思う学校に」を学校テーマに掲げ、組織（教職員）全体で目的を共有し、組織全体で実践し、評価・改善活動につなげている。そのような取組を通してできた学校プロフィールを教科書として実践を行っている。 ○学校プロフィールから明らかになった課題４点について研究を進めている。 ①仲間づくりの研究・実践 具体的には生徒の話し合い活動を重視し、生徒一人ひとりのつながりを深める。 ②基礎・基本の定着 学び合い学習（ペア学習・グループ学習等）を通して基礎学力の定着、学習意欲の向上を目指す。 ③家庭学習の習慣化 家庭学習と授業をつなげ、家庭と連携し家庭学習の習慣化を図る。 ④進路学習の充実・発展 ３年間の見通しを持った系統性ある進路学習を目指す。	○本町は、三重県の中南部に位置し、東部及び南部は紀伊山脈の分水嶺を境として東部は度会町、南は南伊勢町、紀北町に接し、西部及び北部は大台町と隣接している。町の総面積の約91％を山林が占め、地形は全般に急峻である。また、校舎の南を流れる大内山川は、日本一の清流宮川の支流である。美しい山と川に囲まれ、自然に恵まれた学校である。6月に入ると大内山川では鮎などの渓流釣りが楽しめる。 ○校区は、柏崎地区、大内山地区、錦地区からなり、JR紀勢本線、国道42号、県道68号等の交通網で結ばれている。時代をさかのぼれば熊野街道や源平の合戦によってもたらされた歴史を有し、校区に世界遺産「熊野古道」の一部であるツヅラト峠がある。 ○本校は、平成２１年に、大内山中学校、柏崎中学校、錦中学校の３校が統合し、生徒数１３７名で新たにスタートした学校である。今年度で統合５年目を迎えるが生徒数９７名と減少している。今後さらに減少傾向にある。校区は広く、現在７４名の生徒がスクールバスで登校している。

学校名 ・校長名 ・所在地 ・電話番号 ・級地、学級数	児童生徒数	公開授業		研究主題 ～サブテーマ～ ○数字　関連課題
		1校時	2校時	
G みなみいせちょうりつなんとうにし 南伊勢町立南島西小学校 ・大薮　茂喜 ・度会郡南伊勢町村山1036 ・0596-76-0016 ・２級地 ・単式６ ・特別支援１	107	１年･３年･５年 【生活】 【総合的な 学習の時間】	２年【算数】 ４年【算数】 ６年【算数】 特別支援学級 【算数】	『基礎･基本を確実に身につけ意欲的に学ぼうとする子どもの育成』 ～わかる算数科の授業を通して～ ④⑤
H みなみいせちょうりつなんとうにし 南伊勢町立南島西中学校 ・大野　好彦 ・度会郡南伊勢町小方竈20番地 ・0596-76-0154 ・２級地 ・単式３	６９	１年【英語】 ２年【国語】 ３年【学級活動】	全学年 【総合的な 学習の時間】 （キャリア フォーラム）	『自己を見つめ、よりよい生き方を考え仲間とともに高め合える生徒の育成』 ～ともに支え合い 理解し合える仲間づくり～ ③⑥

研　究　内　容	学　校　・　地　域　の　紹　介
【基礎的・基本的な内容の定着】 ○算数（前学年の四則計算）を中心とした朝学習 ○家庭学習の習慣づくり ・学年に応じた家庭学習の内容の工夫、チェックシートや保護者アンケートによる家庭学習及び家庭学習の手引きの活用状況の把握と家庭との連携 ○補充学習の実施 ・週１回放課後、３年以上を対象に、全教職員による個別指導を実施 【確かな学力を身につける授業の改善】 ○わかる授業の創造 ・一人一人の理解や習熟に応じた指導（少人数指導等） ・伝え合い、学び合う場の設定 ○指導主事招聘による授業研究の実施 【組織的に取り組む学校体制の確立】 ○学習規律や授業の約束事、授業スタイルの統一 ○算数環境の整備 ・教室や廊下に算数コーナーの設置 【特色ある取り組み】 ○豊かな心を育む小中連携による人権教育の取り組み ○地域の特色を生かした総合的な学習の時間 ・アジの干物作りや漁業体験など	○本校のある南伊勢町は、伊勢志摩国立公園の南西部に位置し、熊野灘に面したリアス式海岸と紀伊山地の山々に囲まれている。豊かな自然と温暖な気候に恵まれ網漁業や養殖漁業などの水産業や柑橘類の栽培が広く行われている。 ○南伊勢町は、平成１７年１０月に旧南勢町と旧南島町が合併し誕生した。町内には、小学校６校、中学校３校、高等学校１校があるが、過疎化により児童生徒数は減少傾向にあり、平成２６年度には、統廃合により小学校が３校、中学校が２校になることが決定している。 ○本校は、平成１９年に周辺３校が統合して新設され、７年目を迎えている。児童の６割弱がスクールバスで通学している。 ○保護者や地域住民は学校教育に対して関心が高く、学校の教育活動に対して協力的で、支援を惜しまない。児童は地域住民に見守られながら、明るくのびのびと育っており、遊びや全校及び縦割りでの活動を通して良好な人間関係を築きながら、たくましく生き抜く心や態度が育ちつつある。
研究仮説 仮説１ ○自ら考え進んで課題解決に取り組む生徒の育成を目指し ・生徒のコミュニケーション能力を高め、つながりのある授業を創造していけば、意欲的に課題解決に取り組む生徒が育つのではないか。 仮説２ ○将来の夢に向かって努力する生徒の育成を目指し ・すべての領域において、生徒の自尊心や自己有用感を育んでいけば、将来の夢に向かって　努力していく生徒が育つのではないか。 仮説３ ○ふるさとを愛し、地域を元気にする生徒の育成を目指し ・ふるさと「なんとう」から学び、生徒と地域の人々とのつながりを深める活動を行えば、生徒の元気が地域の人々に伝わるのではないか。	○南伊勢町は平成１７年に南島町と南勢町が合併し誕生した。本校の所在する南島地域は、伊勢志摩国立公園の南玄関に位置し、町の大部分は紀伊山地に属する山地帯で、海岸線は風光明媚なリアス式海岸が続いている。この地域は各地に残る歴史的遺産の存在から、伊勢神宮領であったという長い歴史があり、江戸時代に海運航路の開発に貢献した「河村瑞賢」は本町東宮の出身である。また沿岸部には「竈」の字のついた集落が多くあり、昔は南島八か竈と称された製塩集落で、平家の落人により開かれたという伝説が残っている。 ○昭和５７年に南島町立吉津中学校と島津中学校が統合され南島西中学校が誕生した。統合当初は２９７名の生徒数であったが、近年は急激に生徒数が減少し、現在は６９名で学年単学級となっている。本校は今年で３２年目を迎えるが、本年度で閉校され平成２６年度より南島中学校の校舎に統合され、新しい「南島中学校」としてスタートすることになっている。

学校名 ・校長名 ・所在地 ・電話番号 ・級地、学級数	児童生徒数	公開授業		研究主題 ～サブテーマ～ ○数字　関連課題
		1校時	2校時	
I 紀北町立赤羽小学校 ・内山　善嗣 ・北牟婁郡紀北町紀伊長島区島原2708番地2 ・0597-47-0404 ・1級地 ・単式1、複式2	11	1・2年【国語・算数】 3年【道徳】 5・6年【国語・算数】	小・中合同 (場所:若者センター) 【生活・音楽・総合的な学習の時間】 (地域学習の成果発表) ・地域学習についてのプレゼンテーション ・太鼓演奏 ・篠笛演奏 ・中桐神楽 ・扇踊り ・小中合同演奏	『聴き合い、伝え合い、学び合える児童の育成』 ～人・地域とのつながりの中で～ ③
J 紀北町立赤羽中学校 ・玉置　保 ・北牟婁郡紀北町紀伊長島区島原2697番地2 ・0597-47-0417 ・1級地 ・単式3 ・特別支援1	22	1年【社会】 2年【理科】 3年【保健体育】		『小規模校（へき地校）の特色を活かした豊かな学びの研究』 ～学習意欲の向上・地域発掘の取組～ ③⑤

研　究　内　容	学　校　・　地　域　の　紹　介
○地域を学びの場とし、小学校、中学校、家庭・地域が一体となって取り組む教育活動の充実。 ○複式教育や少人数教育において、一人ひとりの学びを保障し、確かな学力を向上させるための効果的な指導法の研究。 ○聴き合い、学び合いを大切にし、伝える力を育てる授業の創造。	○赤羽小学校は、赤羽川・三戸川に沿って散在する12の地区からなり学校は赤羽川と三戸川が合流する近くの野山に包まれた自然環境の中に位置する。校区の面積は、紀伊長島区のおよそ半分を占めるほど広く、昨年度までは自転車通学児童も在籍した１級へき地指定校である。昔から農林業を中心として生活してきた地域であるが、地場産業の衰退による過疎化の波は激しく、児童数は、昭和 37 年をピーク(367人)に減少傾向が著しい。 ○昭和４０年から５０年にかけては、中原分校・十須分校・三戸分校を相次いで閉鎖し本校に吸収となった。平成８年度からは複式学級が始まり、本年度は１・２年、３年、５・６年の３学級編制で（４年欠学年)、全校児童は１１名である。 ○本校の目指す学校像は「安心・安全、そして子どもが活躍できる楽校」で、縦割り班活動や地域での体験活動を中心に、隣接する赤羽中学校とも連携をとりながら、「つながり」を重視した教育活動を展開している。
研究仮説 仮説１ ○確かな学力を身につけるためには、単に知識を身につけることにとらわれず、「知識・技能の習得」「思考力・判断力・表現力」「主体的に学ぶ意欲」を相互的に高めることで、自ら学ぼうとするサイクルが生まれ、学力が高まっていくと考える。 仮説２ ○地域について学び、地域の良き伝統を継承していくことで、地域のために貢献できしよう生徒が育つと考える。また取組を通して、地域とのつながりが一層強まる。	○伊勢神宮から熊野本宮を目指して世界遺産の熊野古道伊勢路を南下すると、ツヅラト峠で初めて海を見ることになる。昔の旅人はその絶景に心を洗われたことだろう。峠を降りると本校の校区である志子地区に出る。本校では以前から地域の「ツヅラト峠を守る会」の人たちとの活動や熊野古道探索学習等、調査研究を続けてきた。 様々な機会にその学びを発信し、現在もその活動を継続することで地域からの学びを深めている。 ○校区の伝統芸能で３００年以上続いてきた「中桐神楽」は、笛方の不在で４０年ほど前から途絶えていた。以来地域の人々はその復活を望んできた。地域の願いをかなえるべく、平成１９年度から篠笛の指導を開始した。地域に残る中桐神楽の経験者や近隣の神楽関係者からの聞き取りや指導を受け、全校生徒を「笛」「太鼓」「舞」の３つのグループに分けて、練習に励んでいる。一部ではあるが中桐神楽を再現することができるようにもなり、それを地域の人たちに披露して「なつかしい」と喜んでいただくこともできた。 ○地域の人たちの温かいご支援の下、校区の小学生ともつながりながら、子どもたちはのびのびと育ち、いきいきと活動している。

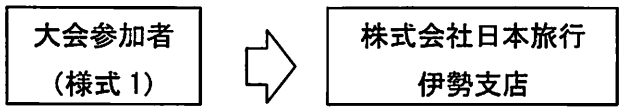
●参加申し込み要領

1. 申し込み方法

申し込み書類は２種類あります（様式１と様式2)。（様式 1）は、参加者全員が記入してください。（様式 2）は、必要な都道府県の方のみ記入してください。

申し込み開始日は、７月１日（月）です。後泊もご希望があれば併せてお申し込みください。

大会参加・宿泊・交流会・専用バス・弁当申込書（様式 1…全参加者）

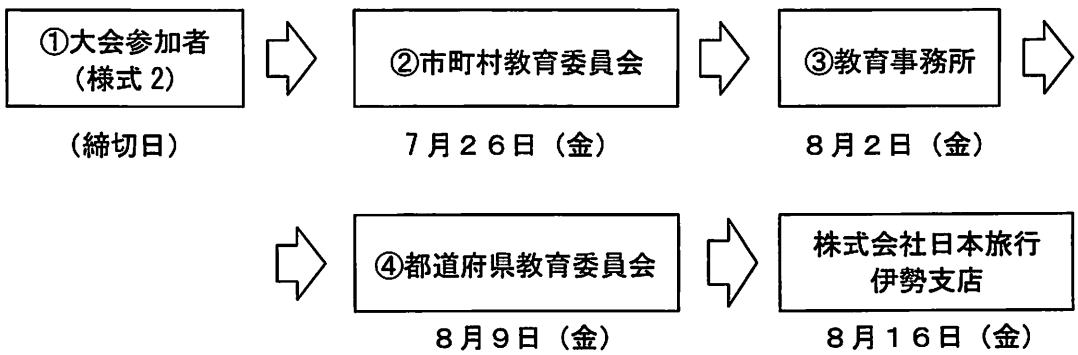


締切日８月２日(金)

大会参加、分散会、分科会、専用バス、お弁当のお申し込みを申込書（様式 1）にご記入の上、直接株式会社日本旅行　伊勢支店へお申込みください。

この様式１については、Web 上からもお申込みいただけます。（次頁の※1 の枠内参照）

参加とりまとめ用紙（様式 2…該当都道府県の方）



①大会参加者は学校ごとに参加をとりまとめ用紙にご記入の上、各市町村教育委員会へお申込みください。（該当都道府県）

②各市町村教育委員会は、参加とりまとめ用紙（様式 2）を作成し、各教育事務所へお申し込みください。（該当教育委員会）

③各教育事務所は、参加とりまとめ用紙（様式 2）を作成し、各都道府県教育委員会へお申し込みください。（該当教育事務所）

④各都道府県教育委員会は、参加とりまとめ用紙（様式 2）を次頁掲載の申し込み先、株式会社日本旅行　伊勢支店まで郵送または FAX にてお申し込みください。（該当教育委員会）

※1　Web 上からのお申込み(Apollon システム) でのお申込みについて

(1)Web 受付システム“Apollon（アポロン)”のトップページ
（URL：https://v3.apollon.nta.co.jp/62zenkokuhekichi/）からアクセスし、お申込みをお願いいたします。**24 時間いつでも大会参加に必要なお申込みが可能です。**

(2)Apollon システムご利用にてお申込みの場合は、**Web 上からいつでも申込み内容のとお支払方法の確認及び、変更・取消ができます。**

(3)お支払方法は、**①Web 上より銀行振り込み**、または**②オンラインクレジット決済**のどちらかをお選びください。

2. 申込受付以降の流れ

①申込書確認後、５日以内に申込書欄右上の受付番号・申込受付日を記入しＦＡＸにて返信をいたします。申込後、６日経過しＦＡＸにて返信が無い場合、恐れ入りますが弊社までご連絡をお願いいたします。

②予約確認書・請求書等の発送は、１０月１５日（火）を予定しております。

③お支払い方法は、銀行振込のみとなります。請求書が到着しましたら請求書記載の銀行口座へ１１月１日（金）までにお振込ください。その際の振込手数料はお客様ご負担にてお願いいたします。

④Ｗｅｂ上からお申込みの方は、上記※１の記載内容をご確認ください。

3. 申し込み内容の変更・追加・取消（県外・県内参加者共通）

申し込み内容の変更及び取消に関しては、**申し込み送付していただいた書面に訂正事項と内容をご記入いただき、再 FAX** をお願いいたします。

4. 申し込み先及びお問い合わせ

〒516-0073　三重県伊勢市吹上１－１－４
株式会社日本旅行　伊勢支店内
『第 62 回全国へき地教育研究大会　三重大会デスク』
担当　：　荒井　克哉／井谷　由佳梨
電話　：　0596-28-5191／FAX　：　0596-22-1941
／e-mail:katsuya_ito@nta.co.jp

5. 個人情報の取り扱いに関して

お申込みの際の個人情報につきましては、今大会に係る目的以外には使用いたしません。

●宿泊施設のご案内

大会前日及びの当日の宿泊先として、宿泊施設をご用意しております（次頁の表をご確認ください）。ご希望の方は下記内容をご確認いただき、お申込みください。

1. 宿泊施設申し込みにあたっての注意事項

(1)宿泊代金はすべて『サービス料及び税金込み』の１名様の料金です。

(2)申し込みにあたっては、様式１の『参加申込書』に記載の申込番号をご記入ください。

(3)今大会開催の宿泊場所は、基本的にビジネスホテル（１泊朝食）を利用いたしますが分科会の宿泊場所には、一部和室を中心とした旅館タイプ（１泊２食）となります。
１名１室ご利用いただく場合、宿泊料金がどうしても高額になってしまう旨、また、同室者のご希望がない場合は、他の参加者との相部屋とさせていただく旨を予めご了承ください。

(4)宿泊施設のご案内は原則先着順とさせていただきますが、各宿泊施設のお部屋数には限りがありますので、必ず第１希望、第２希望をご記入ください。

ご不便をおかけいたしますが、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2. 宿泊施設について

11月6日（水）・7日（木）にご宿泊いただける施設の一覧です。
また、6日（水）の交流会に参加される方は、別途参加費用の6,600円が必要となります。

●宿泊施設一覧（１１月６日・７日）

宿泊日	地区	宿泊施設名	部屋タイプ/定員		申込番号	宿泊料金（1泊朝食付）	申込番号	宿泊料金（1泊2食付）	分科会
11/6（水）	津	グリーンパーク津	洋室	1名利用	1-S1	8,500円	※1 設定なし		全体会前泊
				2名利用	1-T1	8,500円			
		ホテルエコノ津駅前	洋室	1名利用	2-S1	6,500円			
				2名利用	2-T1	6,500円			
		ホテルルートイン津	洋室	1名利用	3-S1	6,800円			
		津都ホテル	洋室	1名利用	4-S1	8,500円			
				2名利用	4-T1	8,000円			
		ドーミーイン津	洋室	1名利用	5-S1	7,900円			
		ホテル ザ・グランコート津西	洋室	1名利用	6-S1	6,800円			
				2名利用	6-T1	6,800円			
11/7（木）	伊勢	伊勢パールピアホテル	洋室	1名利用	7-S1	9,000円	※1 設定なし		神島答志島コース
				2名利用	7-T1	9,000円			
		伊勢シティホテル	洋室	1名利用	8-S1	8,400円			
		伊勢シティホテルアネックス	洋室	1名利用	9-S1	8,400円			
	鳥羽	ロードイン鳥羽	洋室	1名利用	10-S1	7,000円			
				2名利用	10-T1	5,900円			
		シーサイドホテル	和室	4～5名利用	※2 設定なし		11-2	14,000円	
	答志島	寿々波	和室	4～5名利用			12-2	12,000円	答志島コース
	松阪	ホテルルートイン松阪駅東	洋室	1名利用	13-S1	6,900円	※1 設定なし		錦・大紀南島西赤羽コース
		松阪シティホテル	洋室	1名利用	14-S1	6,400円			
	多気	ホテルエコノ多気	洋室	1名利用	15-S1	6,300円			
	大紀	民宿 紀勢荘	和室	2～4名利用	※2 設定なし		16-2	9,000円	
	南伊勢	かわちや旅館	和室	2～4名利用			17-2	8,400円	南島西コース
	紀北	ホテル季の座	和室	4～5名利用			18-2	12,000円	赤羽コース
		民宿 紀伊の松島	和室	3～4名利用			19-2	9,000円	

※１設定なしとなっている施設は、ホテル形式の為、１泊朝食となります。

※２設定なしとなっている施設は、旅館形式の為、１泊２食となります。

●大会参加費・交流会・分散会・分科会について

1. 大会参加費

お一人様 4,000 円となります。

2. 交流会

大会参加者の懇親の機会として、夕食を兼ねた交流会を設定いたします。意見交換と懇親を通して全国にネットワークを広げる機会にしていただきたく思います。多数のご参加をお待ちしております。

日　時　：　平成 25 年 11 月 6 日（水）18：00～20：00

会　場　：　グリーンパーク津　6 階『伊勢・安濃の間』

会　費　：　6,600 円

お申込みご希望の方は、様式 1 の『参加申込書』の『交流会』の欄に「○」印、金額欄に「6,600 円」とご記入ください。

3. 分散会のご案内

全体会（11 月 7 日）終了後、午後に分散会を予定しております。お申し込みは本冊子の 3 頁～6 頁の課題内容をご参照のうえ、様式 1 の『参加申込書』希望欄に①～⑥の中からご希望の番号を記入ください。必ず第 2 希望もご記入お願いします。不参加の場合は、分散会別に「×」をご記入ください。申し込み先着順に受け付けさせていただきますが、会場の受け入れ人数に限りがありますので、第 2 希望をご案内させていただくこともございます。予めご了承ください。

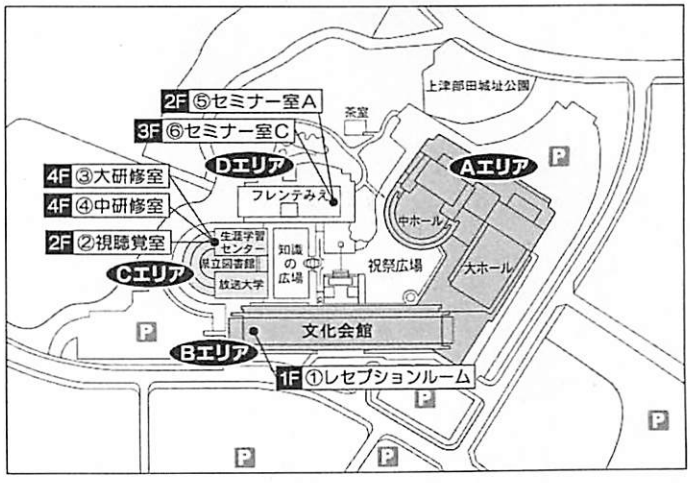
《分散会会場の一覧》

① レセプションルーム（B-1 階）

研究課題 1　家庭や地域と共に確かな学びを創る特色ある教育計画の創造と推進を図る

② 視聴覚室（C-2 階）

研究課題 2　ふるさとを生かし、新しい時代を築く、開かれた学校・学級経営の創造と推進を図る



③ 大研修室（C-4 階）

研究課題 3　地域に根ざし、家庭や地域と共に豊かな心をはぐくむ教育活動の創造と推進を図る

④ 中研修室（C-4 階）

研究課題４　児童生徒の分かる喜びや個性を重視した指導計画の改善・充実を図る

⑤ セミナー室Ａ（D-2 階）

研究課題５　学習意欲や個に応じたきめ細やかな指導を重視した指導方法の改善・充実を図る

⑥ セミナー室Ｃ（D-3 階）

研究課題６　課題意識をもって自ら学び、共に高め合う学習過程の改善・充実を図る

4. 分科会のご案内

11 月 8 日（金）の午前中に分科会を予定しております。お申し込みはＰ．７～16 の『公開授業会場および分科会会場』の『研究主題』の欄をご参照いただき、様式 1 の『参加申込書』の分科会『申込記号』欄にアルファベットＡからＪをご記入ください。申し込み先着順に受け付けさせていただきますが、会場の受け入れ人数に限りがありますので、第２希望をご案内させていただくこともございます。予めご了承ください。

神島小中学校、答志島小中学校は、宿泊施設からバス。鳥羽港から船利用となります。

また、荒天で分科会が開催出来ない場合、他分科会への参加をお願いします。

参加分科会については、実行委員会の指示に従ってください。

《公開授業及び分科会一覧》

	公開授業会場・分科会会場	宿泊エリア	宿泊予定施設
A	鳥羽市立神島小学校	伊勢・鳥羽	伊勢　パールピアホテル・シティホテル・シティホテルアネックス
B	鳥羽市立神島中学校	伊勢・鳥羽	鳥羽　ロードイン鳥羽・鳥羽シーサイドホテル
C	鳥羽市立答志小学校	伊勢・鳥羽・答志島	答志島　寿々波
D	鳥羽市立答志中学校	伊勢・鳥羽・答志島	
E	大紀町立錦小学校	松阪・多気・紀北	松阪　ルートイン松阪駅東・松阪シティホテル
F	大紀町立大紀中学校	松阪・多気・大紀	多気　ホテルエコノ多気・民宿紀勢荘
G	南伊勢町立南島西小学校	松阪・多気・南伊勢	南伊勢　かわちや旅館
H	南伊勢町立南島西中学校	松阪・多気・南伊勢	
I	紀北町立赤羽小学校	松阪・多気・紀北	紀北　ホテル季の座・民宿紀伊の松島
J	紀北町立赤羽中学校	松阪・多気・紀北	

分科会をご指定いただく際、分科会前泊及び大会専用バスの申し込みも併せてお願いいたします。

様式 1 の『参加申込書』の『前泊』欄に希望宿泊記号を、また『大会専用バス』欄に○をご記入ください。不要の場合は空欄にせず、×をご記入ください。

分科会及び宿泊・輸送バスの詳細内容はＰ．24～26 をご参照ください。

注 1)　申し込み先着順に受け付けさせていただきますが、各施設の部屋数は限りがあります。満室の場合は他の宿泊施設にご案内させていただきます。予めご了承ください。

注 2)　分科会用の宿泊施設は和室の旅館タイプがあり２名以上の予約となり１名申込の場合は、相部屋利用となります。また、定員に満たない場合は、相部屋となるか料金アップとなります。

注 3)　バス移動に関しては、分科会の費用格差を少なくするために一律料金とさせていただいております。なお、一部の特定区間では宿泊施設の送迎車を利用する場合もございます。予めご了承ください。

●申し込み内容の変更・取消について

お申し込みの内容について、変更及び取消を必要とする場合は、下記の手順でお願いいたします。

(1) Web 上からお申込み（Apollon システム利用）をされた方

Apollpn システムご利用の上、ご自身で変更及び取消の手続きを行ってください。

(2) FAX にてお申し込みをされた方

申し込み送付していただいた書面に訂正事項と内容をご記入いただき、再 FAX をお願いいたします。

※お電話での変更・取消は事故防止のため、受付いたしかねます。ご理解とご協力をお願いいたします。

また、変更及び取消にあたっては、旅行業法に基づいて下記の通り取消料金を徴収させていただきます。既にお支払いいただいた代金につきましては、大会終了後に取消料を差し引いて返金させていただきます。

《取消料金について》

旅行契約の解除日		取消料(おひとり)
大会開催の前日から起算しさかのぼって	21日目にあたる日以前	無料
	20日目にあたる日以降8日目にあたる日	旅行代金の20%
	7日目にあたる日以降3日目にあたる日	旅行代金の30%
	大会前々日及び大会前日	旅行代金の40%
	大会当日	旅行代金の50%
	無連絡不参加及び大会開始後	旅行代金の100%

注 1) 大会参加費・宿泊費・専用バス・弁当共通の内容です。

注 2) 大会参加費等は大会事務局からの依頼に基づき、株式会社日本旅行　伊勢支店が事務手続きを代行させていただきます。

注 3) 詳細を記した『ご旅行条件書』は別途お渡しさせていただきます。

●分科会会場への行動行程及び料金等のご案内

会場校(A)	鳥羽市立神島小学校	〒517-0001	鳥羽市神島町388-3	TEL0599-38-2013
会場校(B)	鳥羽市立神島中学校	〒517-0001	鳥羽市神島町388-3	TEL0599-38-2009
日程	11月7日(木)	分散会会場(総文)＝＝＝＝＝＝伊勢＝＝＝＝鳥羽 15:40　17:00　17:40		
	11月8日(金)	伊勢＝＝鳥羽＝＝鳥羽佐田浜港～～神島港・・・分科会会場 6:45　7:15　7:40　8:20　8:40 分科会会場・・・神島港～～鳥羽佐田浜港・・・鳥羽駅 13:00　13:30　14:20　14:30		
申込記号	宿泊施設名	宿泊料金	基本部屋/定員	備考
別紙参照	伊勢パールピアホテル	別紙参照	洋室/1～2名	
	伊勢シティホテル		洋室/1名	
	伊勢シティホテルアネックス		洋室/1名	
	ロードイン鳥羽		洋室/1～2名	
	鳥羽シーサイドホテル		和室/4～5名	
料金	■宿泊代は、お一人様あたりの料金となります。(税金・サービス料込) ■11月7日、8日の昼食弁当:両日各1,000円(税込・お茶付)　■大会専用バス:4,000円			

会場校(C)	鳥羽市立答志小学校	〒517-0002	鳥羽市答志町941-1	TEL0599-37-2032
会場校(D)	鳥羽市立答志中学校	〒517-0002	鳥羽市答志町2220-5	TEL0599-37-2033
日程	11月7日(木)	分散会会場(総文)＝＝伊勢＝＝鳥羽佐田浜港～～和具港 15:40　17:00　17:40　17:45　18:07		
	11月8日(金)	伊勢＝＝鳥羽＝＝鳥羽佐田浜港～～和具港・・・分科会会場 6:45　7:15　8:00　8:20　8:40 分科会会場・・・和具港～～鳥羽佐田浜港・・・鳥羽駅 13:00　13:25　13:40　14:00		
申込記号	宿泊施設名	宿泊料金	基本部屋/定員	備考
別紙参照	伊勢パールピアホテル	別紙参照	洋室/1～2名	
	伊勢シティホテル		洋室/1名	
	伊勢シティホテルアネックス		洋室/1名	
	ロードイン鳥羽		洋室/1～2名	
	鳥羽シーサイドホテル		和室/4～5名	
	寿々波		和室/4～5名	
料金	■宿泊代は、お一人様あたりの料金となります。(税金・サービス料込) ■11月7日、8日の昼食弁当:両日各1,000円(税込・お茶付)　■大会専用バス:4,000円			

【注意事項】

(A)(B)の神島小・中学校分科会は、公開授業他は合同発表になります。

大会1日目(11月7日)は、各分散会場にてお弁当をお召し上がりいただきます。会場近くには食事施設が少なく、また時間も限られておりますので、お弁当の事前申し込みをお勧めいたします。

大会2日目はほとんどの会場校の周辺には食事施設やコンビニはありません。お弁当の事前申し込みをお勧めいたします。

会場校(E)	大紀町立錦小学校	〒519-2911	度会郡大紀町錦426-1	TEL0598-73-2012
会場校(F)	大紀町立大紀中学校	〒519-2802	度会郡大紀町崎291-3	TEL0598-74-1010
日程	11月7日(木)	分散会会場(総文)＝＝松阪＝＝多気＝＝大紀町 15:40　16:40　17:10　17:50		
	11月8日(金)	松阪＝＝＝多気＝＝＝大紀町＝＝＝分科会会場 7:10　7:40　8:25　8:30 分科会会場＝＝＝＝＝＝松阪駅 13:30　14:40		
申込記号	宿泊施設名	宿泊料金	基本部屋/定員	備考
別紙参照	松阪ルートイン松阪駅東	別紙参照	洋室/1名	
	松阪シティホテル		洋室/1名	
	ホテルエコノ多気		洋室/1名	
	民宿　紀勢荘		和室/2～4名	部屋にトイレ、風呂なし
料金	■宿泊代は、お一人様あたりの料金となります。(税金・サービス料込) ■11月7日、8日の昼食弁当：両日各1,000円(税込・お茶付)　■大会専用バス：4,000円			

会場校(G)	南伊勢町立南島西小学校	〒516-1423	度会郡南伊勢町村山1036	TEL0596-76-0016
会場校(H)	南伊勢町立南島西中学校	〒516-1532	度会郡南伊勢町小方廻20	TEL0596-76-0154
日程	11月7日(木)	分散会会場(総文)＝＝松阪＝＝多気＝＝南伊勢町 15:40　16:40　17:10　18:10		
	11月8日(金)	松阪＝＝＝多気＝＝＝南伊勢町＝＝＝分科会会場 7:00　7:30　8:15　8:30 分科会会場＝＝＝＝＝＝松阪駅 13:30　15:00		
申込記号	宿泊施設名	宿泊料金	基本部屋/定員	備考
別紙参照	松阪ルートイン松阪駅東	別紙参照	洋室/1名	
	松阪シティホテル		洋室/1名	
	ホテルエコノ多気		洋室/1名	
	かわちや旅館		和室/2～4名	部屋にトイレ、風呂なし
料金	■宿泊代は、お一人様あたりの料金となります。(税金・サービス料込) ■11月7日、8日の昼食弁当：両日各1,000円(税込・お茶付)　■大会専用バス：4,000円			

【注意事項】

大会１日目（11月７日）は、各分散会場にてお弁当をお召し上がりいただきます。会場近くには食事施設が少なく、また時間も限られておりますので、お弁当の事前申し込みをお勧めいたします。

大会２日目はほとんどの会場校の周辺には食事施設やコンビニはありません。お弁当の事前申し込みをお勧めいたします。

<table>
<tr><td>会場校（Ｉ）</td><td>紀北町立赤羽小学校</td><td>〒519-3203</td><td>北牟婁郡紀北町紀伊長島区島原2708-2</td><td>TEL0597-47-0404</td></tr>
<tr><td>会場校（Ｊ）</td><td>紀北町立赤羽中学校</td><td>〒519-3203</td><td>北牟婁郡紀北町紀伊長島区島原2697-2</td><td>TEL0597-47-0417</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程</td><td>11月7日（木）</td><td colspan="3">分散会会場（総文）＝＝松阪＝＝多気＝＝紀北町
15:40　16:40　17:10　18:10</td></tr>
<tr><td>11月8日（金）</td><td colspan="3">松阪＝＝＝多気＝＝＝紀北町＝＝＝分科会会場
7:00　7:30　8:10　8:30

分科会会場＝＝＝＝＝＝松阪駅
13:30　14:50</td></tr>
<tr><td>申込記号</td><td>宿泊施設名</td><td>宿泊料金</td><td>基本部屋/定員</td><td>備考</td></tr>
<tr><td rowspan="5">別紙参照</td><td>松阪ルートイン松阪駅東</td><td rowspan="5">別紙参照</td><td>洋室/1名</td><td></td></tr>
<tr><td>松阪シティホテル</td><td>洋室/1名</td><td></td></tr>
<tr><td>ホテルエコノ多気</td><td>洋室/1名</td><td></td></tr>
<tr><td>ホテル季の座</td><td>和室/4～5名</td><td></td></tr>
<tr><td>民宿　紀伊の松島</td><td>和室/3～4名</td><td>部屋にトイレ、風呂なし</td></tr>
<tr><td>料金</td><td colspan="4">■宿泊代は、お一人様あたりの料金となります。（税金・サービス料込）
■11月7日、8日の昼食弁当：両日各1,000円（税込・お茶付）　■大会専用バス：4,000円</td></tr>
</table>

【注意事項】

（Ｉ）（Ｊ）の赤羽小・中学校分科会は、１校時の公開授業他は合同発表となります。

大会１日目（11月７日）は、各分散会場にてお弁当をお召し上がりいただきます。会場近くには食事施設が少なく、また時間も限られておりますので、お弁当の事前申し込みをお勧めいたします。

大会２日目はほとんどの会場校の周辺には食事施設やコンビニはありません。お弁当の事前申し込みをお勧めいたします。

様式1（複写可）

第62回全国へき地教育研究大会三重大会　大会参加・宿泊・交流会・専用バス・弁当　申込書

□私は旅行手配のために必要な範囲内での運送・宿泊機関・保険会社等への個人情報提供について同意の上、下記旅行に申し込みます。

都道府県		所属先（学校名）		職名		ふりがな	
						名前	
所属先　〒				男女		生年月日	
所属（勤務）先						TEL	
住　　所						FAX	
大会での役割						email	

（申込日）　　月　　日
（変更／取消日）　　月　　日

受付番号	申込受付日	変更受付日

※枠内は弊社で利用しますので、記載しないでください。

※1　案内書面は所属（勤務）先に送付いたしますが、送付先住所が異なる場合はその住所をご記入ください。

※2　宿泊施設で同室希望者がおられる場合は、下記の表の"その他"の項目に希望者の所属先と名前を記入ください。

項目	参加	宿泊（大会前日）11月6日（水）	交流会	分散会 申込番号	昼食（弁当）11月7日（木）	大会専用バス 11／7（木）～8（金）		分科会 申込番号	宿泊（分科会前日）11月7日（木）		昼食（弁当）11月8日（金）	備考
記入例	○	第1希望（申込番号） 1-S1 第2希望（申込番号） 2-S1	○	第1希望 ② 第2希望 ⑤	○	○	マイカー × マイカー	第1希望 D 第2希望 H	第1希望（申込番号と金額） 7-S1　¥9,000 第2希望（申込番号と金額） 13-S1　¥6,900		○	
	¥4,000	第1希望料金　¥8,500	¥6,600		¥1,000	¥4,000					¥1,000	
記入欄		第1希望（申込番号） 円 第2希望（申込番号）		第1希望 第2希望				第1希望 第2希望	第1希望（申込番号と金額） 第2希望（申込番号と金額） 第1希望（申込番号と金額） 第2希望（申込番号と金額）			
	¥4,000	円	¥6,600		¥1,000	¥4,000					¥1,000	
その他												

お客様振込口座名（旅行代金返金時に使用いたします）				
銀行名		銀行		
		金庫		支店
		組合		本店
	普通・当座		口座番号	
フリガナ				
口座名義				

《費用振込先》
銀行名　：みずほコーポレート銀行
支店名　：十五号支店
口座番号：普通預金口座 3104467
口座名義：株式会社日本旅行

【申込書送付先・問い合わせ先】
〒516-0073　三重県伊勢市吹上1-1-4（伊勢市駅構内）
株式会社日本旅行　伊勢支店内
『第62回全国へき地教育研究大会三重大会デスク』
TEL：0596-28-5191　FAX：0596-22-1941
営業時間：平日 10:30～18:00（土日祝は休業）
担当者　：荒井克哉　／　井谷由佳梨

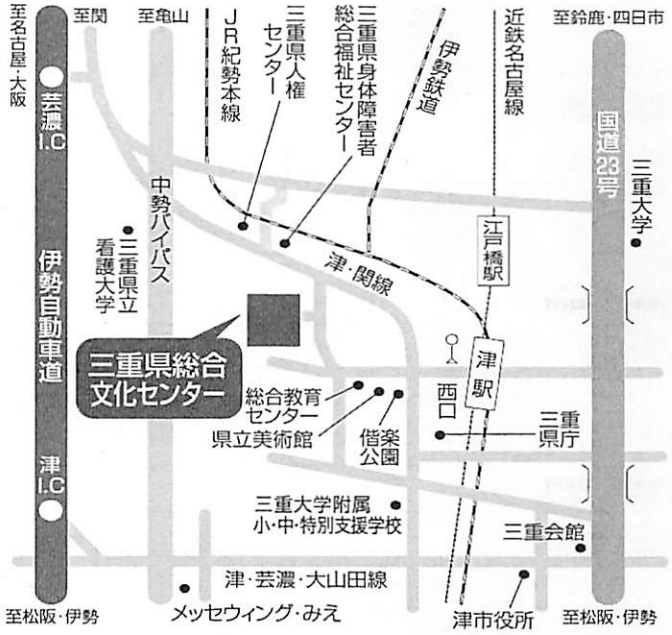
様式2 （複写可）
市町村教育委員会用・教育事務所用・都道府県教育委員会用

第62回　全国へき地教育研究大会三重大会
第27回　東海北陸地区へき地教育研究大会三重大会

参加とりまとめ用紙

NO	名前	職名	所属名	分散会		分科会	
				第1希望	第2希望	第1希望	第2希望
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							

●アクセスのご案内



◇三重県総合文化センターホームページより抜粋◇

(1)近鉄利用の場合

名古屋駅より近鉄特急利用で津駅まで約５０分。津駅西口から三重県総合文化センターまで徒歩約２５分、タクシー利用で約５分です。

(2)乗用車ご利用の場合

東名阪、伊勢自動車道利用、名古屋西 IC から津 IC まで約 70km。三重県総合文化センターまで約 20 分です。

(3)航空機ご利用の場合

中部空港から高速船（津エアポートライン）が津港まで運行しております。
空港毎時０分発（13.15.17 時発を除く）にて所要時間 45 分にて津なぎさまち港へ
津なぎさまち港から津駅まで路線バスが接続しており約 10 分です。

会場校案内図

● 問い合わせ ●

第62回　全国へき地教育研究大会三重大会実行委員会事務局

〒519-3814　三重県尾鷲市三木浦町391番地
尾鷲市立三木小学校　校長　樋口　巧
TEL **0597-28-2029**　FAX **0597-28-2029**
E-mail emiki@owase.ed.jp